

2026 年 07 月 07 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：「夏休み相場に突入」

マーケット参加者が夏休みを取り始めている、と考えます。

通常の年であれば、マーケット参加者にとっての夏休みは、7 月 4 日の米国の独立記念日から始まります。

今年はワールドカップ・サッカーが開催されているので、それが終わるまでの間が、夏休み前の準備期間となり、それを経て、本格的な夏休み相場に入るのだろう、と考えています。

「相場とワールドカップ・サッカーは関係ない」
と言う人が、たまにいますが、そんなことはありません。

世界中が注目し、熱狂するイベントです。

サッカーが好きな市場参加者は、相場よりもサッカーを優先します。

「ワールドカップが終わったら、相場に真剣に臨む」
と考えている人は、世界中にたくさんいるのです。

ただし、今年のワールドカップの決勝戦は、7 月 20 日（月）なので、それまでが、ワールドカップ期間です。

ところで、7 月・8 月は基本的には夏休み相場ですが、だからといって取引が無くなることはなく、それなりの動きはあります。

ポジションを取っておけば儲かりそうに思える展開もあるかも知れません。

しかし、市場参加者が薄いマーケットは、リスクが高い（＝危険）と言えます。

予期しない大きな資金が出入りすると、想像がつかない値動きになり、経験則が通用しないギャンブル相場と化す可能性もあるからです。

通常の状態でも相場は難しいものだと思います。

その難しい中で市場参加者は知恵と経験をフルに使って戦っています。

それでも負けることがあるのに、経験則が生かせない相場に飛び込むのは無謀だし、わけも

分からない状態で利益を追求する行為は王道とは言えません。

夏休み相場に入ったら、他の参加者と同じようにポジションを整理して休み、9月になってマーケットに厚みが戻ってから参戦するべき、と考えます。

皆と同じことをやっていると相場では勝てない——それはその通りですが、皆と同じことをやるほうが良いことも、たくさんある、と考えます。

+++++

今年のワールドカップは、米国・カナダ・メキシコの共同開催で、米国はその主催者の一国です。

本日、米国はベルギーと決勝トーナメント2回戦を行いました。

この試合では、レッドカード（退場処分）で出場停止となっている米国選手を、トランプ大統領が政治的介入を行って、退場処分を保留にした、と話題になっています。

幸いにも、米国がベルギーに負けたので、これから大きな問題（話題）にはならないのだろう、と考えます。

しかし、ルールを途中で捻じ曲げる対応は、トランプ大統領の「得意技」です。

トランプ大統領が就任している間は、米国を信認しない方が良い、と考えます。

いずれにしても、米国独立記念日を終えたので、夏休み相場に突入です。

少し気を緩めて、休暇を楽しむのが良い、と考えます。

+++++

（2026年07月07日東京時間14:00記述）